



提出 令和 8 年 5 月 27 日

一 般 質 問 通 告 書

- 一括方式
一問一答方式

質問 順番	7
----------	---

東海村議会議長 吉田 充宏 様

議席番号 6 番 議員氏名 大名 美恵子

質問事項 (件名)	教育のデジタル化と児童・生徒の状況について	答弁者
要旨 (具体的に) 文科省による GIGA スクール構想の目的は、「1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校 ICT 環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子供たちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』を実現すること」とされているが、本村の現時点での実施状況を問う。 また、タブレットを一人一台配布後、先生の指導の上での変化やタブレットを持ち帰ることによるトラブルの状況及び対応等を問う。 さらに、視力・集中力・姿勢等、児童・生徒の健康面や脳の発達への影響・問題点についてはどのように見ているか問う。		

質問事項 (件名)	小・中学校の女子トイレに生理用品の設置を	答弁者
要旨 (具体的に) これまでの本質問への答弁は、「自己管理能力を育成する学校における保健指導の狙いや、養護教諭の業務負担増を考えると、現在の運用方法が本村の実情に合ったものとする」とし、生理用品のトイレへの設置はしないという事だった。 小・中学校時期の生理への対応は、月に1回、「妊娠の準備」のための現象を正しく理解し、正しい対応を習得する時期であり、女子児童・生徒に等しく習得が必要であるとともに、「生理の大事さ」を学校全体で共有できる取組が重要と考える。 村教育委員会としての捉え方を改めて問う。		

乙 表

氏 名	大名 美恵子	No.	2
-----	--------	-----	---

質問事項 (件名)	介護保険第1号被保険者の第10期保険料の引 下げについて	答弁者
要旨（具体的に） 本村は、第1号被保険者の保険料を4期連続で一月当たり5,000円としてきた。令和6年度決算時の基金残高は約11億4,570万円であった。保険料額の検討では基金の活用で引下げは十分可能だったとみられる。 今年度行われる介護保険制度第10期に向けての保険料額検討では、引下げの結論を出すことは十分可能と考えるが、村の見解を問う。		

質問事項 (件名)	東海第二原発の「原子炉ウェル手摺の落下防止 措置における検討不足について」に関わって	答弁者
要旨（具体的に） 日本原電は、「2025年1月から、東海・東海第二発電所の運営の透明性をより高めるため、CAP会議で確認された不適合事象や不適合未満の事象についても必要に応じて毎月ホームページで公開します。原則、月毎に取り纏め、翌月中旬頃に更新しますが、事象により翌月を待たずお知らせする場合もございます。」と公表し、報告されている。 2026年度4月の公開では、件名「原子炉ウェル手摺の落下防止措置における検討不足について」とある。 本件を含めて、これまで公開されてきた件・事象の安全協定上の関わりを問う。 また、村への報告は2025年1月以後の全件について行われてきたものと受け止めるが、村としての対応を問う。 今回公開された「原子炉ウェル手摺の落下防止措置における検討不足について」に関して村の受け止めを問う。		